

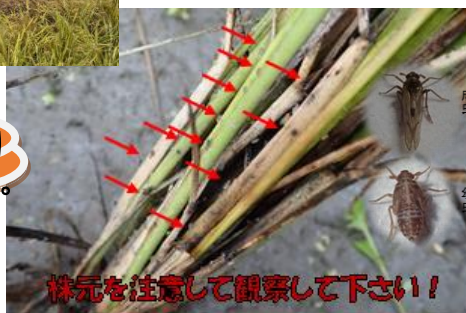
営農ウィークリーNEWS

注意!!! トビイロウンカ 発生に注意して下さい!!



昨年の被害の様子

←トビイロウンカによる坪枯れ被害



株元を注意して観察して下さい!

防除の目安は、株当り成幼虫が5頭以上です。



5月に、奈良県でトビイロウンカの発生が確認されてから、西日本各地で次々と発生が確認されています。

長崎県では、6月後半に本田での発生も確認されました。京都府では、発生は確認されてはいませんが、依然として注意が必要です。

田植え時に、フルスロットル箱粒剤など、ウンカ類に対して長期的に効果を発揮する薬剤を施用されていない方は、この時期のトビイロウンカ防除として「トレボン粒剤」の散布をおすすめします。

どちらにせよ、8月以降は、圃場に入り稲株元にトビイロウンカの発生がないか確認することが大切です。

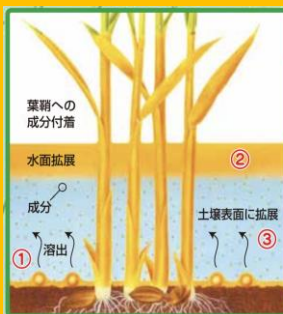
おすすめ!
トレボン粒剤
(IRAC:3A)



適用害虫と使用方法

2021年4月21日現在

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフプロックスを含む農薬の総使用回数
稲	イネミズウムシ イネドロオウムシ イネソウムシ イネヒメハモグリバエ イナゴ類 ウンカ類 ツマグロヨコバイ	2~3kg/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内
	ニカメイチュウ第1世代	3kg/10a				



水田に水面施用されたトレボン粒剤の働き方

- ① 散布後、水中に沈んだ粒剤から溶出した有効成分が田面水表面に広がって、薄い膜状の層を形成します。
- ② 水面に広がった有効成分は、表面張力や毛細管現象、風波、水位変化などによって水稲葉鞘部や葉にも付着します。また、稲の伸長によっても有効成分の付着範囲は水面より上に広がります。これら有効成分が、水面付近や葉鞘部で活動する害虫に効果を示します。
- ③ さらに、有効成分の一部は、田面水下の土壌表面に拡散して層を作ります。この層は、蛹になるために土中に潜ろうとするイネミズウムシ幼虫への防除効果に寄与していると考えられています。

農薬の使用前には、必ずラベル等で登録内容の確認をお願いいたします!

—TAC information—

いもち病も、ご注意!



おすすめ!
オリゼート粒剤



【適用内容】(2018年10月末日現在)

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カボチールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	3kg/10a	移植時	1回	倒伏施用	
	白葉枯病 もみ枯細菌病	3~4kg/10a	葉いもちには初発の10日前~初発時 穂いもちには出穂3~4週間前 収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内(移植時までの処理は1回以内)
	穂枯れ(ごま葉枯病菌)		移植活着後及び出穂3~4週間前 収穫14日前まで			

6月23日、京都府病害虫防除所より「病害虫発生予察第5号(7月)」が発表されました。

その中で、「葉いもち」について、平年比やや多く、前年比多いとの予報内容でした。

補植用苗でも、発生が確認されています。発生源となりますので、放置したままの苗は早急に処分してください。

いもち病の発生については、気象に大きく影響されますので、曇雨天が続く場合には注意が必要です。特に、多肥田や山間、山沿いの水田では注意が必要です。

みのり姫の ふれあい マルシェ

2021年7月15日(木)

10時30分～14時00分

★売切れ次第終了となります★

お野菜5袋以上
お買上げの先着50名様に
お漬物の素プレゼント



★★★☆☆ JA京都中央管内の新鮮な農産物を販売します ★★★☆☆

マスクの着用と、
暑さ対策を万全に。
会場でお待ちしております♪



お問い合わせは下記までご連絡ください

JA京都中央
☎ 075-955-8575

✉ keizai@kyo-ja.com

主催: JA京都中央 共催: JA京都中央 営農者会



↑公式HP



↑公式LINE

★開催場所★

JA京都中央 神足支店
東側駐車場(ATM横)



※新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて開催を中止する場合がございます。予めご了承下さい。